

■ こんなときどうする？

Q 家人が亡くなつた 身内に不幸があつた

A 神棚の前に白紙を貼り一定期間お参りなど神棚まつりを慎みます。その期間は地方の慣習などにもよりますが、現在では一般的に五十日間としています。この期間を過ぎると神社でお祓いを受け、神社への参拝や神棚まつりを再開します。

また、御輿の渡御やお神楽の奉仕、キリコ曳山などの神賑わいに参加しても差し支えありません。



●喪中とは…

死亡した人に対する礼特に人の死後その親族が一定期間、世を避けて身を慎むこと。
親族の範囲によってその期間に長短があります。

●忌中とは…

喪中で慎んでいる一定の日数
神社では五十日間
仏教では四十九日間

■ 人生儀礼の歩み

すべて数え年です

結婚式

安産祈願（腹帯のお祓い）

初宮詣

令和2年 七五三詣

男女とも 三歳 平成30年生れ[戌歳]

男性

五歳 平成28年生れ[申歳]

女性

七歳 平成26年生れ[午歳]

令和3年 危祓い

男性

25歳(本厄)平成 9年生れ[丑歳]

女性

19歳(本厄)平成15年生れ[未歳]

42歳(本厄)昭和55年生れ[申歳]

33歳(本厄)昭和64年生れ[巳歳]

前厄と後厄もあります

男女とも 還暦(61歳) 昭和36年生れ[丑歳]

(幼・少・青・中年期の厄の締め括り)

令和3年 長寿の祝

白寿(99歳)大正12年生れ[亥歳] 卒寿(90歳)昭和 7年生れ[申歳]

米寿(88歳)昭和 9年生れ[戌歳] 傘寿(80歳)昭和17年生れ[午歳]

喜寿(77歳)昭和20年生れ[酉歳] 古希(70歳)昭和27年生れ[辰歳]

石川県神社庁の WEBサイトを活用しよう！



お手持ちのスマホで
左のQRコードを読み込んで下さい。

●パソコンで探す

石川県神社庁

検索

●スマートフォンやタブレットで探す



石川県
神社庁

石川県神社庁 事務所：金沢市小坂町西44番地
TEL: 076-252-7771

不許複製

発行 令和2年9月1日(令和3年版)

心を育む
我が家のも

神さま

ご家庭に神棚を

祀りましょう



連絡先

おふだ ご家庭に御札を まつ お祀りしましょう！



Q おふだ まつ
どうして御札をお祀りするのか？

～天地の恵みをいただいて～

この世に生きる全てのものは天地の恵みによって生かされ、神々のご守護によって生活を営んでいます。「天の恵み」を与えてくださる神様は三重県伊勢市に鎮座する**伊勢神宮の天照大御神さま**です。一方「地の恵み」を与えてくださり、また各地域の皆さんを護つて頂いている神様は家の近くにある**神社の神様、氏神さま**です。

**天地の神様のご加護に感謝し各家庭で
お伊勢様・氏神様の御札を神棚にお祀りしましょう！**

【天の恵み】

お伊勢さまの御札】

伊勢神宮は皇大神宮と豊受大神宮を中心に近在の百二十五のお社から成ります。皇大神宮は天照大御神さまをおまつりし、「日本人の心のふるさと」と親しまれています。皇室のご先祖の神さまであり、また私たち国民の総氏神さまでもあります。その広大無辺のご神徳は太陽にたとえられ「天の恵み」と仰がれます。



【地の恵み 氏神さまの御札】

氏神さまは日本全国津々浦々に地域住民の心のよりどころとしておまつりされています。都会にあっては諸産業を、農村にあっては農業を守護し、漁港にあっては大漁をもたらすなどその土地に暮らす全ての人々（氏子）とその生活をお守りくださる最も身近な神様です。親が我が子を慈しむような、大地が五穀を育むようなご神徳は「地の恵み」と称えられます。

新しい年に！新しい御札を！

新たな年を清々しく迎えるにあたり、お正月にお伊勢さまと氏神さまの御札を新しいものに取り換えます。これは「より新しいお力、より新しい生命をいただく」という意味があり、日本の伝統・先祖伝來の美しい風習です。



氏神さまの神社がどこにあるか わかりません

自分の地域の氏神さまがわからないときは、石川県神社庁のホームページで検索することができます。

氏神様を検索してみましょう！

1. 「石川県神社庁」ホームページにアクセスする。
(パソコンや音声検索で「石川県神社庁」と検索)
2. 石川県神社庁のHPでは「地図から探す」「市町村から探す」「キーワードで探す」の3つの方法で神社を探すことができます。



- ◆宮司が不在の兼務神社でも宮司が常駐する本務神社がわかりご連絡いただけます。
- ◆そのほか、県内の様々な神社の情報がご覧いただけますので、一度ホームページをのぞきに来てください！